



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'98 4月号

展示工事順調に進行中



工事中の二階展示室

博物館は大次展示替えのため2月より4月いっぱい休館させていただいています。いま、2階展示室の改装工事は急ピッチで進行中です。二階に上がると一面にベニヤ板が敷かれ、展示ケースの壁面のクロスを張り替えたり、新しいケースやステージが作り込まれたりしています。ケースが組み上がると内装のクロス貼りや照明器具の取り付け、展示物を取りつけるメッシュの取り付けなどが行われます。その後、展示解説のパネル、展示物や説明のラベルが並べられて展示の完成となります。新しい展示室のイメージは工事のさなかにはなかなか湧いてきませんが、展示物を並べ始める中旬以降には、「大地、海、村、都市」という流れのある展示が見えてくるでしょう。

また、一階の民家は耐震工事を進めています。土壁を壊し、柱と柱の間に補強材を張り込み、再び壁を塗っています。

五月には新装成った展示室が公開されます。ぜひ博物館に足をお運びください。



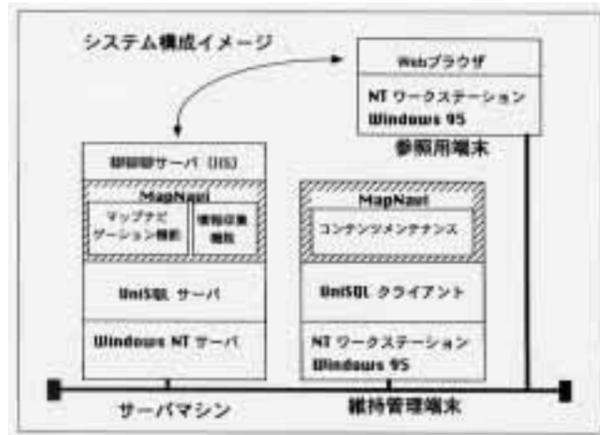
補強した民家の内壁を塗っている

情報コーナー

博物館は2月より2階展示室の展示替え工事をおこなっています。5月には2階の展示室が11年ぶりに一新されます。情報コーナーは特別展示ケースと情報展示端末が置かれます。

博物館情報

博物館には二階展示室に情報コーナーがあります。このコーナーには情報パネルやいくつかの資料が引き出しに納められ、情報パネルは机において見ることが出来るようになっていました。このコーナーに新たに展示ケースと情報検索端末とよぶコンピュータが置かれます。展示ケースには年三回程度行われる特別展で展示された資料などを一部展示して、終了後も皆さんに見ていただくようにしました。コンピュータは二台置かれますが、それぞれがデータベースサーバと繋がったネットワークを作り、博物館の情報にアクセスする形でいろいろな地域情報に接することが出来ます。その仕組みはインターネットと全く同じもので、インターネットで使われるインターネットエクスプローラ（略してIEとも呼ばれる）というブラウザで検索します。



システムの仕組み

博物館が集めてきたもの

博物館は市民の皆さんと一緒に地域のいろいろな資料を集め、保存し、調べています。その博物館の活動領域は「相模川流域の自然と文化」ということばのとおり相模川の源流である富士山のふもとから相模湾までの広い範囲にわたっています。この地域情報は特別展示や普及活動に、あるいはガイドブックなどの出版物に、そして今回の常設展示にといろいろな切り口で皆さんに提供されます。一方、収蔵庫にはたくさんの地域資料が納められています。これらは一度は常設展示や寄贈品コーナーなどで展示されているものが多いのですが、展示されている時間よりは収蔵された状態

のほうははるかに長いのが普通です。今まで二階展示室に展示されていた資料のうちいくつかは収蔵庫にもどされるとしばらくは皆さんの目に触れる機会はないかも知れません。



フォトCDから表示用画像を作成する鈴木さん



タイトルや説明文をデータベースに入れ、画像を張り込む作業中の池内さん

蓄積されてきたもう一つの情報

資料は出版物に載せたり、記録として写真撮影されます。博物館では写真もれっきとした資料として扱いますが、これらも膨大な量の蓄積がなされてきました。今回、その一部をデジタル化し、CDに焼き込みました。フォトCDという、1枚のCDに100枚の写真をいくつかの精細度で記録するもので、フォトCD約100枚、約1万枚の写真をデジタル化しました。これらから今回の情報展示に合わせた形に加工し直したり、また、CD化出来ない図書類、紙焼きの古い写真などはスキャナという装置でデジタル化し、それぞれ展示用のデータベースサーバに収蔵されました。一度デジタル化された資料写真や図面は何回使っても使い減りする事がないため、情報展示ではこれら写真や画像データを何回でも呼び出して使える仕組みを作りました。

地図で情報検索ができます

蓄積された情報は見る人の目的に合わせた検索方法を作ってやらないとうまく目的の情報を見つけれま

せん。また、博物館の情報の特性として重要な要素に地図情報があげられます。常に地域というフィールドと結びついてこそ博物館の情報は生きるのです。そこで情報を見つけるにあたり、あいうえお順の名前から探し出す場合と地図上の場所から探し出す二通りの検索方法を作りました。地図上での検索はまた一種旅の気分でもあり道をするような楽しさもあります。

相模川をあるく

平成4年に刊行された「相模川事典」は、7年間にわたる「相模川を歩く会」の活動の成果として出されたものです。この資料をもとに湖／湧水、山／峠、社寺、河川、街道／宿など、流域の自然と文化にかかわるいろいろな情報約1400件をデジタル化しました。また、流域の地図情報には、小田原にある神奈川県立生命の星地球博物館に衛星写真をこの展示のために加工していただき、使用しています。

平塚の情報から

平塚市内の遺跡、地形、石仏などの市内の自然と文化に関する情報を作りました。平塚の遺跡、平塚の自然、平塚の地質、など今まで調査し資料収集されてきた平塚の地域情報が積み重ねられて

います。あなたが住む地域の周辺にどんな生き物がいて、昔の人がどんな生活を送っていたのか、興味深く知ることができます。

操作の仕方

使い方はモニターの前に置かれたマウスを操作して、IE上に表示された索引から見たい内容の文字に矢印ポインターを合わせ、マウスのボタンを軽く押します。地図上からの検索は画面左半分の地図をマウスのボタンを押しながら動かして、見たい地域が画面に出てくるように操作します。地図画面は上半分が案内地図、下半分がボタンを張り込んだ表示地図になっています。地域を大きく移動させたい場合は上の地図上でマウス操作をします。地図を細かく動かしたり、中の情報を見るときは下の地図上でマウス操作をします。解説文の中の文字が青色でアンダーラインが引かれているところがありますが、その文字はリンク情報と言って、関連した項目にジャンプできます。こうした方式はハイパーテキスト構造というインターネットの特徴を生かしたものです。

4月現在で作成が進んでいる情報タイトルは以下の通りです。オープンの際にはもっと増えていると思いますので、ぜひ二階情報コーナーで相模川流域の情報ブラウジングをお楽しみください。



相模川事典のページから。左の衛星写真にボタンが張り込まれ、クリックするとその場所の情報が表示される。

作成中のタイトル

- カエルと淡水魚
- 相模川事典
- 湘南のシダ
- 湘南の種子植物
- 鳴く虫・はねる虫
- ひらつか図鑑
- 平塚の遺跡
- 平塚の自然
- 平塚の地質
- 平塚の星空
- 星と宇宙

博物館カレンダー

4月の行事予定

5	日	○	相模川の生い立ちを探る会 自然観察会	(大山三峰) (野外)
9	木		石仏を調べる会	(野外)
11	土	○	こども観察会 地質調査会	(土屋) (野外)
12	日		民俗探訪会	(野外)
16	木		石仏を調べる会	(野外)
19	日		地質調査会	(上吉沢)
26	日		古代遺跡を探す会	

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

参加者募集

●星を見る会

「月と春の星座を見よう」

春の星座と望遠鏡で月を観察します。

期日：5月2日(土)

時間：午後7時～8時30分

場所：博物館屋上

集合：1階科学教室

参加：自由

*曇雨天時中止

●漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた生き物や人工物を拾い調べます。

期日：5月9日(土)

時間：午前9時30分～11時

集合：花水川橋平塚側たもと

参加：自由

*雨天時中止

5月の行事予定

1	金		古文書講読会	(館内)
2	土	◎	星を見る会「月」	(館内)
7	木		石仏を調べる会	(館内)
8	金		古文書講読会	(館内)
9	土		地質調査会	(館内)
		◎	漂着物をひろう会	(平塚海岸)
10	日		民俗探訪会	(館内)
15	金		古文書講読会	(館内)
16	土		平塚の空襲と戦災を記録する会 古代遺跡を探す会 天体観察会「ガイドンス」	(館内) (箱根) (館内)
17	日	◎	地質調査会	(野外)
		○	ろばた話の会	(館内)
20	水		みんなで調べよう 地質調査会	(館内) (館内)
21	木		裏打ちの会	(館内)
22	金		石仏を調べる会	(館内)
23	土	○	古文書講読会	(館内)
24	日		みんなで調べよう	(館内)
29	金		古文書講読会	(館内)
31	日		相模川の生い立ちを探る会	(佐島)

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

参加者募集

●みんなで調べよう

「ツバメの巣を調べます」

ガイドンス5月17日 観察会5月23日 まとめ 7月18日

申込〆切：4月20日までに往復ハガキで。

■休館のお知らせ

二階展示室の展示替えに伴い、休館中です。

期間：2月2日(月)～4月30日(木)

なお、博物館にご用のある方は電話で、または1階事務室までお越し下さい。

あなたと博物館

23巻 1号 通巻254号 発行 平塚市博物館 2500

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:31-3949